

調査等事項報告 (団体名： 会派 改革クラブ)

視察 (要望) 先	岩手県北上市 岩手中部広域行政事務組合 中部クリーンセンター
視察 (要望) 日時	令和4年5月12日 (木) 13時~15時まで
視察 (要望) 項目	岩手県内でも先んじて、広域化を成しえた当組合の沿革と経過やその必要性。また、これによりもたらした効果及び最新の設備やSDGsへの取組みについて
視察 (要望) 者	菊池貞好、犬飼 司、阿部正任、高橋卯任
内 容	<p>○説明者：岩手中部広域行政事務組合中部クリーンセンター 参事兼事務局長 澤藤 樹史 氏 主幹兼事務局長 昆 精寿 氏</p> <p>平成9年厚生省よりの「ごみ処理広域化計画について」の公示を受け、県の地域ブロック割を基に、当時地域内に3団体あった焼却施設が開設からほぼ同年数を経ていたことや、迅速な適性用地の一致など広域化へまとまりやすかったこともあり、県内でいち早く平成14年に岩手中部広域行政事務組合が設立された。</p> <p>平成27年に現設備が稼働に至ったが、面積比では神奈川県より広い同地域を賄う必要があるため、同年に遠野市に中継センターを稼働させた。現在に至るまでの経緯をお聞きし、広域化に至るには、その地域のまとまりが必要であり、重要である。</p> <p>視察した最新の焼却等施設ではほとんどごみ臭もなく、域内22万人弱の年間約55万tもの焼却ごみを処理し、廃熱再生エネルギーにより7600世帯分の発電を行い、また焼却灰よりセメント資材の製品化も行っている。広域化に伴い、焼却炉設備の大規模化により焼却コストの削減もあり、収支状況も改善されている。</p> <p>平成31年には、クリーンセンターに隣接する地域振興施設クリーンドームアリーナも設けられ、地元のスポーツ振興にも寄与し親しまれている様子だった。災害時の避難所としても優れている施設である。</p>

調査等事項報告（団体名： 会派 改革クラブ ）

視察（要望）先	青森県十和田市 県南保全センター株式会社 バイオガスエネルギーとわだ
視察（要望）日時	令和4年5月13日（金） 9時～11時まで
視察（要望）項目	本市では燃えるごみとして焼却処理されている生ごみだが、その負担は施設へも大きい。食品ロスの観点からも生ごみなどを利用した再生エネルギー化を伺う。
視察（要望）者	菊池貞好、犬飼 司、阿部正任、高橋卯任
内 容	<p>○説明者：県南保全センター株式会社 バイオガスエネルギーとわだ バイオ施設管理課 今泉 慎吾 氏</p> <p>会社施設に近づくにつれ巨大な2つのタンクが目についた。令和2年に稼働したこの設備のシンボリック発酵タンクであった。下水処理施設などから発生する汚泥や企業・一般家庭から排出される生ごみなどの処理、メタン菌の発酵によるメタンガスで発電を行っているとの説明を受けた。</p> <p>処理量は日量80tに及び、発電量は1,100世帯を賄えるそうである。廃棄物には地元特産のりんごかすなども含まれている。</p> <p>発酵槽へのメタン菌へのエサとなる廃棄物の処理原料の投入には、気温やタンク内温度、菌の具合状況を見ながら気を使うという言葉が印象的であった。</p> <p>さらに、発酵槽から発生した発酵残渣を堆肥化し、農地へ還元、そこからの作物が家庭に供給されるという目を見張るような取り組みであった。</p>

調査等事項報告（団体名： 会派 改革クラブ ）

視察（要望）先	宮城県仙台市 仙台市環境局廃棄物企画課
視察（要望）日時	令和4年5月13日（金） 14時～16時まで
視察（要望）項目	今年度より施行されたプラスチック資源循環促進法の先進的取り組みを行う仙台市の経緯と現状から学ぶ
視察（要望）者	菊池貞好、犬飼 司、阿部正任、高橋卯任
内 容	<p>○説明者：仙台市廃棄物企画課長 藤田 則広 氏</p> <p>持続可能な環境衛生行政において、ゴミの細分別化による再生資源の再利用化は必須と思われる。現在本市では、細微なプラスチック製品は燃えるゴミ、容積の大きいものは燃えないゴミとして処理されている。</p> <p>プラスチック資源循環促進法の施行を見据え、仙台市では令和2年度より「杜の都」のブランド向上を図り、ごみ減量、リサイクルを一層推進する基本計画を立て、細やかな実証事業を実施するなどして取り組んできた。成果として、市民への周知も進んできた。この政策を推し進める意向であった。</p> <p>仙台市においては、市民への周知、製品プラスチック回収、リサイクル施設の整備が進んでいるが、本市において取り組むにはまだ難しい状況にあると思える。しかしながら、持続可能な社会づくりのため本市も取り組まねばならない課題だ。</p>